

SIT-CIT エネルギー効率ガジェット開発

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年09月01日 ～2025年09月08日	日本	チェンナイ工科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械工学科、機械機能工学科、(改組前)先進国際課程、先進国際課程、基幹機械コース、先進機械コース、国際理工学専攻</li> <li>・学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生、学部3年生、学部2年生</li> </ul>	(芝浦工業大学) 学生6名、学生バイト2名、 教員2名 (チェンナイ工科大学) 学生10名	RAJAGOPALAN UMAM AHESWARI(先進国際課程)、 二井 信行(機械工学課程基幹機械コース)



CIT students' greeting of SIT professors



Welcome Pizza party

図1

インド・チェンナイのCITから10名の学生が参加した。プログラムは9月1日朝から8日午後まで実施された。ウマ研究室から2名のTAが運営を支援した。SITからはkikaikino専攻の2年生・4年生男子各1名、kikai専攻の3年生1名、IGP専攻の3年生2名が参加した。CITからの交換留学生も参加した。CIT学生は国際交流課の張氏による初動オリエンテーションを受けた。次にTAが、6月のNTUTとのプロジェクトで制作した動画を用いてGPLの内容を紹介した。CIT学生は既にArduinoプログラミングに習熟しており、目標も理解していたため、プロセスは非常に円滑に進んだ。CIT-SIT学生計16名は5チーム(各3名)に分けられ、3名ごとにSITメンバー1名を含むよう無作為にチーム編成された。学生たちはSDGs達成に貢献するガジェットのアイデアを自由に考案する時間を持った。翌日、各チームは作業を開始し、必要なプロジェクト資材を調達するため秋葉原へ向かいました。2日(火)の夜には歓迎ビザパーティーが開催され、多くの参加者を集めました。最終日も同様のパーティーが行われ、ウマラボメンバーやホスト学生を含む約23名が参加しました。学生たちはワークショップに参加し、足踏み発電機、洪水警報システム、音声感知支援技術、恐竜ジャンプゲーム、自動水位制御システム、スマート街路灯管理システムなど様々なガジェットの制作に取り組みました。全体として、学生たちは実用的で有用なプロジェクトを数多く考案しました。最終日の金曜日、全チームのプレゼンテーションは午前10時30分に開始され、プログラムは成功裏に終了しました。今後も植物関連機関との連携を継続し、チェンナイでスマート農業ドローンプロジェクトを中心としたアウトバウンドイベントを開催予定です。本ワークショップを通じて、参加学生全員が知識を得ただけでなく、インド人学生のSIT短期交換留学プログラム参加や、今年度大学院への3名の入学など、強固な関係構築が実現したと確信しています。



Student's orientation



Students in Yukata



Students' visiting Anime movie



Student groups engaged in the project



Students' engaged in Basketball

図2

図3